

2022年度公益財団法人原爆の図丸木美術館事業報告書

1. 公益目的事業

(1) 常設展示

「原爆の図」をはじめとする丸木位里・丸木俊による共同制作、丸木スマの絵画を随時展示

(2) 企画展

a) 「東北画は可能か？ 一千景万色一」 4月16日－7月3日

b) 「蔦谷楽 ワープドライブ/WARPDRIVE」 7月23日－10月2日

c) 「母袋俊也 魂－身体 そして光 《ta・KK・ei》《TA・GEMBAKZU》」

10月22日－2023年1月22日

d) 「趙根在 地底の闇、地上の光 ー炭鉱、朝鮮人、ハンセン病ー」 2月4日－5月7日

(3) 講座・講演

a) 開館記念日 5月5日 オンライン配信

「坂田明×原爆の図 ヒロシマの記憶と響きあうサキソフォン」

b) オンライントーク 6月10日 「原爆の図」を未来に残すために ー保存修復の現場から

c) ひろしま忌 8月6日 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

d) オンライントーク 9月27日

蔦谷楽展「ハワイと日本の核にあるもの／What Warps from Hawaii 'i to Japan」

e) オンライントーク 12月10日 「変化のかけら ー丸木美術館建物調査から見えてきたもの」

(4) 美術・工作教室

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催せず

(5) 広報活動

a) 機関誌として「原爆の図丸木美術館ニュース」を年間4回発行

b) 企画展などのPR動画を作成配信

(6) 情報交換・広報協力

活動を広く知らせるため、随時、美術・文化団体や平和団体と連絡・協調を行った

2. 収益事業

(1) 収蔵絵画及びその画像資料の賃貸

a) The Sheds Gallery, The University of Sydney 「Art and Activism in the Nuclear Age」

4月7日～5月14日 原爆の図《火》原寸大複製画

b) もうひとつの美術館 「もうひとつの生きかたー自分の時を楽しむ」

7月15日～11月27日 丸木スマ作品12点

c) Daiwa Foundation Japan House 「HIROSHIMA by Iri Maruki and Toshi Maruki」

7月20日～9月19日 原爆の図のためのデッサン10点

d) 東根市公益文化施設まなびあテラス 「丸木位里・丸木俊・丸木スマ展」

7月31日～10月10日 原爆の図《とうろう流し》、丸木位里、丸木俊、丸木スマ作品計50点

(2) 物品販売

丸木俊の絵本原画を使用したポストカードを新たに制作・販売

※事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告附属明細書は作成しなかった